

1. 園の理念・基本計画を理解し、教育・保育に活用していますか。

93%

- ・概ね理解し活用しているという結果であった。ただ、どこまで活用しているかは、A,Bの2段階評価で把握できなかった。今後、どのように活用していくかという研修も大切と思われる。

2. 園の運営・管理（分掌内容）を理解して、自分の分担の仕事を行っていますか。

93%

- ・概ね理解し、自分の分担の仕事を行っているという結果であった。分掌内容をできるだけ具体的に提示し、自分が何をしたら良いかが分かる分掌内容の提示がより良い園を構築すると考えます。

3. 教育・保育の内容を理解し、環境構成や子どもの見取りを工夫して充実させていますか。

96%

- ・項目数が多すぎるので分析するのは難しいが、保育の質に関連する評価内容であるので、今後は具体的な項目での絞った数での評価が望まれます。

4. 教育・保育計画（教育・保育課程や指導計画）に基づいて実践していますか。

82%

- ・B評価のパーセンテージが高かったが概ね実践されていたと捉えられます。指導計画を保育実践に活用していくために、どのような活用方法があるのか、指導計画は何のために大切なのかの共通理解がより大切と考えます。

5. 子どもの安全のために環境の快適さ、清潔さや安全性に配慮して実践していますか。

75%

- ・B評価のパーセンテージが一番高かった。安全対策が一番重要であるので緊急に問題点を把握して対策を講じる必要があると考えます。(コメント欄にも問題提起の記述がありました)

6. 保護者対応（相談、連絡、援助）の向上を目指して努力していますか。

91%

- ・保護者の評価で具体的な改善への意見が今年は多かったと思います。また、具体的な問題の記述も多かった。反面、教師の評価にはそのことが反映されていないと考えられます。保護者評価の内容一つ一つを検討し、問題点を把握して早急な対応が必要と考えます。

7. 研修に対して積極的に参加し、教育・保育を向上させようと努力していますか。

84%

- ・保育の質の向上は、第一は研修によると考えます。研修内容は近年多くの内容が求められています。保育実践に関わること、保護者への対応（相談、連絡、援助など）、職員の協働性など幅広い内容の研修の実施を検討することが求められていると考えます。また、今まで築いた園の実践を若い世代に受け継いでいく職員間の協調性に基づく伝承も大切に思います。(コメントに「協調性が大切」が見受けられました。)